

令和7年度  
第2回 学校運営協議会

日時：令和8年1月28日（水）13:30～15:00

会場：岩手県立花巻農業高等学校  
生物科学科実習室



岩手県立花巻農業高等学校

## <次第>

- 1 開会のことば
- 2 学校長あいさつ
- 3 学校概要報告
  - (1) 学校評価（総務）
  - (2) 学習状況等（教務）
  - (3) 進路決定状況（進路）
  - (4) 部活動の成果（生徒指導）
  - (5) 農業クラブ活動（農場）
- 4 意見交換

- |   |
|---|
| <p>[視点1] 持続可能な社会の創り手、地域や地域産業等を担う人材の育成</p> <p>[視点2] 本校の「特色化・魅力化」の取組を深化させるために</p> <p>[視点3] 少子化における入学者数の確保</p> |
|---|

- 5 閉会のことば

## 令和7年度 岩手県立花巻農業高等学校 学校運営協議会名簿

### (1) 学校運営協議会委員 (13名)

役職	氏名	所属・職名	
会長	海 邊 健 二	富士大学 経済学部経済学科 教授	
副会長	佐 藤 巧	有限会社岩手園芸 代表取締役	
委員	秋 山 司	株式会社ネクスグループ 取締役会長	
委員	昆 正	花巻農業協同組合 監事	
委員	藤 田 康 悦	花巻市農林部 農政課長兼地域農業推進室長	
委員	川 村 由 佳	二枚橋地域環境整備推進協議会 会長	
委員	小宮山 久美子	岩手県立農業大学校 教育部長	
委員	山 本 講治郎	県南広域振興局 経営企画部産業振興課 就業支援員	
委員	八 木 稔 和	花巻市立矢沢中学校 校長	
委員	橋 本 恵 子	岩手県立花巻農業高等学校PTA 3学年委員長	
委員	小田島 弘 通	岩手県立花巻農業高等学校同窓会 理事	
委員	市 丸 成 彦	岩手県立花巻農業高等学校 副校長	
委員	河 野 裕	岩手県立花巻農業高等学校 教諭 (総務・図書主任)	

### (2) 学校教職員 (9名)

職名	氏名	分掌等	
校長	沼 澤 信 典		
副校長	市 丸 成 彦	(再掲)	
事務長	川 戸 均		
教諭	河 野 裕	総務・図書主任 (再掲)	
教諭	馬 場 友紀子	教務主任	
教諭	高 橋 奨 吾	生徒指導主事	
教諭	小 池 美香子	進路指導主事	
教諭	小田原 尚 範	保健主事	
教諭	及 川 智 文	農場長	

# 令和7年度 岩手県立花巻農業高等学校経営計画

1	校訓・教育目標	校 是「農で学び 農で育ち 農で生きる」 教育方針「人間教育」「専門教育」「在り方・生き方教育」		
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	ア 人間力 宮澤賢治先生が実践した「愛農精神」を受け継ぎ、農業教育を通して自然や生命を大切にすることを育むと共に、健全な判断と望ましい行動ができる生徒を育てます。 イ 専門性 時代の進展に対応しながら、農業をはじめ産業社会に貢献する創造性豊かな実践力と発信力のある生徒を育てます。 ウ 自己実現 自ら学んで社会を生き抜き、自己実現を図ることができる生徒を育てます。	
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	ア 3つの学科の学習を通して、農業・環境・食に関する基礎的・基本的な知識や技術の定着を図り、地域の担い手を育てる学びを行います。 イ 科目選択により、興味関心や進路に対応すると共に、関係機関との連携による専門性の深化及びプロジェクト学習を通して課題解決能力を伸ばす学びを行います。 ウ 大学等の進学希望者にも対応した教育課程とし、将来の地域リーダーを育てる学びを行います。	
		(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	ア 他者と協働でき、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒 イ 自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒 ウ 何事も失敗を恐れず、様々な活動に挑戦しようとする生徒 エ 農業学習で学んだことを活かし、地域社会に貢献しようとする生徒	
3	魅力化協働パートナー	株式会社ネクスグループ、岩手県東南広域振興局経営企画部産業振興室、富士大学、岩手県立農業大学校、花巻市農林部、二枚橋地域環境整備推進協議会、花巻農業協同組合、有限会社岩手園芸、花巻市立矢沢中学校、花巻農業高校PTA、花巻農業高校同窓会		
4	目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	<b>重点目標</b>	<b>達成指標</b>
			ア 農業教育を通じた魅力ある学校づくりと豊かな人間性の育成	・「花農に入学してよかった」と答える生徒の割合『85%以上』
			イ 基礎基本の定着と学力の向上	・「授業がわかる（学習理解度）」と答える生徒の割合『85%以上』
			ウ 進路指導・キャリア教育の充実	・「希望や適性に合った進路指導を行っている」と答える生徒の割合『90%以上』
			エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」の構築と組織的ないじめの未然防止・適切な対処	・「生徒指導上の問題に適切に対応している」と答える生徒の割合『80%以上』
			オ 諸活動への積極的参加と農業クラブ活動の充実	・「農業クラブ活動が活発である」と答える生徒の割合『85%以上』
			カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制の構築	・「安心して学校生活を送ることができる」と答える生徒の割合『85%以上』
(2) 取組方針	ア 農業教育を通じた魅力ある学校づくりと豊かな人間性の育成【人間力】 (ア)生活5大目標（挨拶の励行・時間の厳守・整理整頓・端正な身だしなみ・正しい言葉づかい）を徹底する。 (イ)農業教育を通して自然や生命を大切にすることを育む。 (ウ)個を大切に教育相談と特別な支援を要する生徒への適切な指導の充実を図る。			
	イ 基礎基本の定着と学力の向上 (ア)教員の授業力向上を図る。（わかる授業・わくわくする授業の展開） (イ)家庭学習の定着と基礎学力の向上に向けた取組を強化する。			
	ウ 進路指導・キャリア教育の充実【自己実現】 (ア)3年間を見通した組織的・系統的な進路指導・キャリア教育を強化する。 (イ)全職員による指導を徹底し、全生徒の進路実現を目指す。			
	エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」の構築と組織的ないじめの未然防止・適切な対処 (ア)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見に取り組む。 (イ)教職員の連携を密にし、適切な初期対応をとる。 (ウ)保護者への丁寧な対応と連携を図る。			
	オ 諸活動への積極的参加と農業クラブ活動の充実【自己実現・専門性】 (ア)部活動、学校行事、地域連携活動等、様々な活動を通して生徒個々の能力の伸長を図り、自主性・自律性を育てる。 (イ)プロジェクト学習を推進し、生徒の課題発見・解決能力の育成を図る。			
	カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制の構築 (ア)子どもの権利条約について教職員が理解し、生徒の人権を尊重した指導を行う。 (イ)不適切な指導根絶に関する研修に参加し不適切な指導防止の意識の醸成を図る。			

### 3 学校概要報告

#### (1) 学校評価（総務）

令和7年度 学校評価（R7.11月実施）		1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない										百分率は未回答を除いています。			
[回答率] 生徒97.0% 保護者80.0% 教職員100%															
設問	対象	設問		1	2	3	4	未回答	合計	回答数	1	2	3	4	1+2 の合計
設問1	【生徒】	わかりやすい授業を行っている。	78	142	12	2	7	241	234	33.3%	60.7%	5.1%	0.9%	94.0%	
	【保護者】		42	141	9	1	48	241	193	21.8%	73.1%	4.7%	0.5%	94.8%	
	【教職員】		12	25	1	0	0	38	38	31.6%	65.8%	2.6%	0.0%	97.4%	
設問2	【生徒】	家庭学習が定着している。	25	85	98	26	7	241	234	10.7%	36.3%	41.9%	11.1%	47.0%	
	【保護者】		20	80	72	22	47	241	194	10.3%	41.2%	37.1%	11.3%	51.5%	
	【教職員】		1	6	27	4	0	38	38	2.6%	15.8%	71.1%	10.5%	18.4%	
設問3	【生徒】	挨拶する姿勢が身に付いている。	82	115	31	5	8	241	233	35.2%	49.4%	13.3%	2.1%	84.5%	
	【保護者】		31	107	48	8	47	241	194	16.0%	55.2%	24.7%	4.1%	71.1%	
	【教職員】		4	24	8	2	0	38	38	10.5%	63.2%	21.1%	5.3%	73.7%	
設問4	【生徒】	頭髪・服装の身だしなみが整っている。	36	108	76	14	7	241	234	15.4%	46.2%	32.5%	6.0%	61.5%	
	【保護者】		34	101	50	9	47	241	194	17.5%	52.1%	25.8%	4.6%	69.6%	
	【教職員】		2	15	14	7	0	38	38	5.3%	39.5%	36.8%	18.4%	44.7%	
設問5	【生徒】	生徒会活動、部活動が活発である。	82	116	27	9	7	241	234	35.0%	49.6%	11.5%	3.8%	84.6%	
	【保護者】		45	116	30	3	47	241	194	23.2%	59.8%	15.5%	1.5%	83.0%	
	【教職員】		3	30	5	0	0	38	38	7.9%	78.9%	13.2%	0.0%	86.8%	
設問6	【生徒】	いじめ等の生徒指導上の問題に適切に対応している。	76	119	20	17	9	241	232	32.8%	51.3%	8.6%	7.3%	84.1%	
	【保護者】		43	121	24	4	49	241	192	22.4%	63.0%	12.5%	2.1%	85.4%	
	【教職員】		17	21	0	0	0	38	38	44.7%	55.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
設問7	【生徒】	安心して学校生活を送ることができている。	96	121	13	4	7	241	234	41.0%	51.7%	5.6%	1.7%	92.7%	
	【保護者】		63	118	11	2	47	241	194	32.5%	60.8%	5.7%	1.0%	93.3%	
	【教職員】		12	26	0	0	0	38	38	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
設問8	【生徒】	進路に関する情報を適切に提供している。	135	93	5	1	7	241	234	57.7%	39.7%	2.1%	0.4%	97.4%	
	【保護者】		52	125	15	2	47	241	194	26.8%	64.4%	7.7%	1.0%	91.2%	
	【教職員】		24	14	0	0	0	38	38	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
設問9	【生徒】	生徒の希望や適性に応じた進路指導を行っている。	126	102	3	3	7	241	234	53.8%	43.6%	1.3%	1.3%	97.4%	
	【保護者】		54	126	11	3	47	241	194	27.8%	64.9%	5.7%	1.5%	92.8%	
	【教職員】		20	18	0	0	0	38	38	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	100.0%	

設問 10	【生徒】		140	84	5	4	8	241	233	60.1%	36.1%	2.1%	1.7%	96.1%
	【保護者】	生徒の健康、ケガ、体調不良等に適切に対応している。	76	109	9	0	47	241	194	39.2%	56.2%	4.6%	0.0%	95.4%
	【教職員】		29	9	0	0	0	38	38	76.3%	23.7%	0.0%	0.0%	100.0%
設問 11	【生徒】		102	103	18	9	9	241	232	44.0%	44.4%	7.8%	3.9%	88.4%
	【保護者】	生徒からの悩み相談に適切に対応している。	42	130	18	3	48	241	193	21.8%	67.4%	9.3%	1.6%	89.1%
	【教職員】		20	18	0	0	0	38	38	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	100.0%
設問 12	【生徒】		112	104	12	5	8	241	233	48.1%	44.6%	5.2%	2.1%	92.7%
	【保護者】	校内の安全や衛生的な環境作りに適切に対応している。	59	126	8	1	47	241	194	30.4%	64.9%	4.1%	0.5%	95.4%
	【教職員】		16	21	1	0	0	38	38	42.1%	55.3%	2.6%	0.0%	97.4%
設問 13	【生徒】		159	72	0	3	7	241	234	67.9%	30.8%	0.0%	1.3%	98.7%
	【保護者】	専門科目の授業や実習が充実している。	108	80	5	0	48	241	193	56.0%	41.5%	2.6%	0.0%	97.4%
	【教職員】		20	16	1	1	0	38	38	52.6%	42.1%	2.6%	2.6%	94.7%
設問 14	【生徒】	農業クラブ活動が活発である。	113	104	11	5	8	241	233	48.5%	44.6%	4.7%	2.1%	93.1%
	【保護者】	専門科目を生かして研究活動や競技活動が活発である。	91	92	10	0	48	241	193	47.2%	47.7%	5.2%	0.0%	94.8%
	【教職員】	農業クラブ活動が活発である。	14	24	0	0	0	38	38	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	100.0%
設問 15	【生徒】		42	68	89	35	7	241	234	17.9%	29.1%	38.0%	15.0%	47.0%
	【保護者】	生徒が読書する習慣が身についている。	10	58	90	33	50	241	191	5.2%	30.4%	47.1%	17.3%	35.6%
	【教職員】		1	9	25	3	0	38	38	2.6%	23.7%	65.8%	7.9%	26.3%
設問 16	【生徒】		71	106	37	20	7	241	234	30.3%	45.3%	15.8%	8.5%	75.6%
	【保護者】	図書館の蔵書が充実している。	12	114	58	4	53	241	188	6.4%	60.6%	30.9%	2.1%	67.0%
	【教職員】		2	22	13	1	0	38	38	5.3%	57.9%	34.2%	2.6%	63.2%
設問 17	【生徒】	花農祭など学校行事が充実している。	122	88	18	4	9	241	232	52.6%	37.9%	7.8%	1.7%	90.5%
	【保護者】	花農祭など保護者が参加しやすいPTA活動や学校行事を行っている。	76	98	15	2	50	241	191	39.8%	51.3%	7.9%	1.0%	91.1%
	【教職員】		11	27	0	0	0	38	38	28.9%	71.1%	0.0%	0.0%	100.0%
設問 18	【生徒】	花農に入学して、良かった。	113	105	11	4	8	241	233	48.5%	45.1%	4.7%	1.7%	93.6%
	【保護者】	花農に入学させて、良かった。	112	74	6	0	49	241	192	58.3%	38.5%	3.1%	0.0%	96.9%
	【教職員】	花農に勤務して、良かった。	20	13	3	2	0	38	38	52.6%	34.2%	7.9%	5.3%	86.8%

## (2) 学習状況等（教務）

### 1 「わかる授業」に向けての実践について

- (1) 授業力の向上のため、年1回の授業研究期間を変更し、期間を長く設定して、教員の互見授業研修を実施。
- (2) 習熟度別授業を1・2年生の数学で実施。
- (3) 「わからなかった生徒への対応」として、成績不振生徒に対して夏休みと冬休みの補習、考査前の放課後学習会を実施。

### 2 家庭学習・基礎学力の定着について（学習実態調査より）過去3年間の比較

※ Classi：学び直しトレーニング教材を配信（家庭学習課題）

調査項目	R7	R6	R5
1 普段、家庭学習を行っていない割合	23.6%	19.0%	25.4%
2 普段、Classi 以外は家庭学習を行っていない割合	33.8%	29.1%	31.8%
3 考査1週間前から考査期間、家庭学習を行っていない割合	7.9%	7.2%	6.8%
4 学習理解度（たいへん理解できた・おおむね理解できた）	90.1%	90.0%	89.2%

- (1) 考査毎に学習実態調査を Classi のアンケート機能を活用して実施。
- (2) 家庭学習用教材として Classi による義務教育内容から学び直し学習課題配信を行い、目標点に届かない生徒に対して放課後学習会を実施。
- (3) 文章読解力向上のため、朝学習で「読書」を継続実施。「新聞を読む日」は、記事を Classi で配信して実施。

### 3 成果と課題

- (1) 学校経営計画における達成目標として「授業がわかると答える生徒の割合を85%以上」と設定したことから、「わかる授業」の実践に向けて、学習指導要領の「情報活用能力の育成」を踏まえ、ICTを活用した研究授業・教員研修を実践した。研修等の成果もあり、学習実態調査の結果は90.1%であった。今後も多様な教材を活用する情報リテラシーと授業力の向上を図り、基礎基本の定着と学力の向上につながる「わかる授業」を推進する。
- (2) Classi を活用した家庭学習が定着したものの、「家庭学習を行っていない割合」が増加した。ICT教材を活用し、個々の学習スケジュールを自己管理するなど、主体的に学びに向かう習慣を身に付けながら、より探究につながる教科指導を推進する。
- (3) 全県において、ICT端末を生徒の各家庭での準備が推奨されている。授業での活用方法に関する事例研究を行い、教員のスキルアップを図る。

### (3) 進路決定状況（進路）

令和7年度卒業生進路状況

令和8年1月16日現在

進路	学科	生物科学科		環境科学科		食農科学科		小計		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女		
	在籍	13	17	15	1	8	24	36	42	78	
進学希望者		7	5	7		4	10	18	15	33	
進学	4年制大学	1	2	1				2	2	4	
	短期大学						1		1	1	
	産技短・農業大学校	2						2		2	
	専門学校	農学									
		情報・工学	1	1					1	1	2
		調理教育					3	5	3	5	8
		医療・福祉	2		2		1	1	5	1	6
	その他	1	2	4			3	5	5	10	
	進学決定	7	5	7		4	10	18	15	33	
	進学未定										
就職希望者		6	12	8	1	4	14	18	27	45	
就職	民間企業	管内	3	7	3	1	3	8	9	16	25
		県内		4	3			3	7	10	
		県外		1			1	2	1	3	4
	公務員	2		1				3		3	
	自営	1						1		1	
	就職決定	6	12	7	1	4	13	17	26	43	
	就職未定			1			1	1	1	2	
進路未定											

#### 1 進学

##### (1) 4年制大学・短期大学

富士大学（経済学部経済学科）、盛岡大学（栄養科学部栄養科学科）、石巻専修大学（人間学部人間文化学科・人間教育学科）、仙台青葉学院短期大学（栄養学科）

##### (2) 農業大学校・産業技術短期大学校

岩手県立農業大学校（農産園芸学科野菜経営科(2)）

##### (3) 専門学校

いわて林業アカデミー(2)、北上コンピュータ・アカデミー(2)、専修大学北上福祉教育専門学校(4)、水沢学苑看護専門学校、菜園調理師専門学校(4)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(3)、辻調理師専門学校東京、JFTD 学園日本フラワーカレッジ、盛岡医療福祉スポーツ専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、仙台総合ペット専門学校、岩手理容美容専門学校、盛岡外語観光&ブライダル専門学校、盛岡ヘアメイク専門学校、国立音楽院宮城キャンパス

#### 2 就職

##### (1) 管内

(株)いいね、イーエヌ大塚製薬(株)花巻工場、岩手雪運(株)、SWS東日本(株)大迫工場、(株)オプトル花巻事業所、銀河フーズ(株)、(有)山愛緑化、水 i n g (株)、成和建設(株)、(株)ツガワ花巻工場、(株)TSD、(株)デンロコーポレーション東北ガルバセンター(2)、(株)トヨタレンタリース岩手、(株)トライアルカンパニー、日東工業(株)花巻工場、花巻温泉(株)(2)、花巻市森林組合、花巻信用金庫、(株)PALTAC東北支社、(株)ミッシェル、(株)メディスケット、(株)ユニバース、(株)理水興業

##### (2) 県内

(株)イシイ、いすゞ自動車東北(株)、水 i n g (株)(北上市)、(株)西部開発農産、セコム(株)、(株)ツガワ北上工場、ホンダカーズ岩手南(株)、(株)ヤマダデンキ、谷村電気精機(株)、(社福)立正会、自営

##### (3) 県外

(株)東ハト、朋和産業(株)習志野工場、(株)吉池、(株)ロピア

##### (4) 公務員

岩手県職員（総合土木）、岩手県警察、陸上自衛隊一般曹候補生

## (4) 部活動の成果 (生徒指導)

令和7年度部活動記録 (全国大会出場・東北大会入賞) 令和8年1月23日時点

### 運動部

#### ○ボクシング部 (男子)

- (1) 全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会  
兼 第79回全国高等学校ボクシング選手権大会 (岡山県)  
・ピン級 出場 環境科学科2年 藤原 柊
- (2) 第79回東北高等学校ボクシング選手権大会  
・ピン級 第3位 環境科学科2年 藤原 柊

#### ○ボクシング部 (女子)

- (1) 第37回東北高等学校ボクシング新人大会  
・フライ級 第3位 生物科学科1年 清川 佳恋  
・バンタム級 第2位 生物科学科1年 伊藤 璃乃

### 文化部

#### ○鹿踊部

- (1) 第49回全国高等学校総合文化祭 (かがわ総文祭 2025)  
郷土芸能部門 出場

#### ○写真部

- (1) 第23回全日本動物写真コンテスト  
野生部門 学生賞 食農科学科2年 佐々木 優衣
- (2) 第4回学校制服フォトコンテスト  
審査員特別賞 環境科学科2年 小原 勇輝
- (3) 第24回イー歯トーブ笑顔の写真コンテスト  
学生部門 1席 食農科学科2年 佐々木 優衣
- (4) 第20回アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」  
特別賞「高等学校文化連盟全国写真専門部賞」  
環境科学科2年 小原 勇輝
- (5) 第49回全国高等学校総合文化祭 (かがわ総文祭 2025)  
写真部門 出場 食農科学科3年 高橋 美桜  
食農科学科3年 岩間 萌衣
- (6) 第14回日韓中高校生フォトコンテスト  
最優秀賞・ニコン賞 環境科学科3年 柳原 里音

## (5) 農業クラブ活動（農場）

### 農業クラブの大会入賞歴

#### (1) 第76回日本学校農業クラブ全国大会（西関東大会）

##### 【優秀賞】

- ・農業鑑定競技会（分野「農業土木」）  
環境科学科3年 伊藤 蓮翔

#### (2) 第76回日本学校農業クラブ東北連盟大会（山形大会）

##### 【優秀賞】

- ・プロジェクト発表会「分野Ⅲ類」  
「Deliciousソーセージ ～フードロス削減を目指して～」  
ソーセージ研究班 食農科学科3年 畑山 愛佳、古川 真央、菅原 胡子  
食農科学科2年 高橋 万季、高橋 繁生、谷地館 遥斗

#### (3) 令和7年度岩手県学校農業クラブ連盟大会

##### 【最優秀賞】

- ・プロジェクト発表会「分野Ⅲ類」  
「Deliciousソーセージ ～フードロス削減を目指して～」  
(ソーセージ研究班) 食農科学科3年 畑山 愛佳、古川 真央、菅原 胡子  
食農科学科2年 高橋 万季、高橋 繁生、谷地館 遥斗
- ・家畜審査競技会（肉用牛の部）  
生物科学科3年 高橋 一珠

##### 【優秀賞】

- ・プロジェクト発表会「分野Ⅰ類」（洋菓子研究班）  
「新米農業女子の挑戦！ ～いわてあわこがねを活用した新商品開発を目指して～」  
食農科学科3年 新田 愛、阿部 美詩、福山 唯良、石塚 心海、鎌田 ちとせ、多田 歩未
- ・プロジェクト発表会 分野Ⅱ類（緑化系列）  
「日本庭園への世界遺産風景模造を試みて ～思いよ届け！中国雲南省へ～」  
環境科学科3年 梅野 陽斗、佐々木 琉勇、小原 由章、鎌田 由至
- ・平板測量競技会  
環境科学科3年 高橋 祐也、橋本 大翔、柳原 里音

### 各種コンクール等の入賞歴

#### (1) 岩手県産業教育振興会 専門高校生の研究文・作文コンクール

##### 【優秀賞】

- ・研究文の部  
食農科学科3年 新田 愛、阿部 美詩、福山 唯良、石塚 心海、鎌田 ちとせ、多田 歩未
- ・作文の部  
生物科学科2年 伊藤 陽翔

##### 【佳作】

- ・作文の部  
食農科学科1年 上山 梨羅  
環境科学科3年 及川 智也

- (2) 岩手うんめえ～もん！！グランプリ 2025  
**【優良賞】**  
 食農科学科3年 洋菓子研究班
- (3) SDGsQUEST みらい甲子園全国大会  
**【万博会場出場】**  
 食農科学科3年 ソーセージ研究班
- (4) 第14回ご当地！絶品うまいもん甲子園 北海道・東北エリア選抜大会  
**【優勝・企業賞（JA全農賞）】**  
 食農科学科3年 伊東 愛姫、佐々木 心路、開田 玲央
- (5) 第13回高校生ビジネスプラン・グランプリ  
**【ベスト100選】**  
 食農科学科2・3年 ソーセージ研究班
- (6) 第25回環境甲子園  
**【特別奨励賞】**  
 食農科学科3年 ソーセージ研究班
- (7) JAいわて花巻 地産地消料理コンクール  
**【優良賞】**  
 食農科学科3年 藤田 美咲
- (8) 第11回全国ユース環境活動発表大会東北地方大会  
**【優秀賞】**  
 食農科学科3年 洋菓子研究班
- (9) 第2回みどり戦略学生チャレンジ全国大会  
**【AgVenture Lab賞】**  
 食農科学科3年 ソーセージ研究班

## キャリア教育

○総合生活力（健康・体力、豊かな人間性、確かな学力）を育成する視点

- (1) アンテナショップ「羅須プラザ」販売実習（各学科2年生、購販売委員会）
- ・二枚橋商店街 5月～10月（6回）
  - ・空港羅須プラザ 12月（3回）
- (2) 異年齢交流
- ・同窓生との羅須地人協会合同剪定（環境科学科）
  - ・PTA花いっぱい運動（生物科学科）

○人生設計力（社会を把握する能力、勤労観・職業観、将来設計力）を育成する視点

- (1) 現場見学
- ・生物科学科2年  
 [岩手県農林水産部農業普及技術課] 先進経営体等研修会（株）いわて銀河農園
  - ・環境科学科1年  
 [岩手県県土整備部道路環境課] 大台野橋橋梁補修工事、夏油大橋橋梁補修工事

- [岩手県建設業協会] 佐比内トンネル築造工事
- [いわて高校魅力化推進事業] 大和造園(株)
- ・環境科学科2年
  - [岩手県建設業協会] 佐比内トンネル築造工事
  - [いわて高校魅力化推進事業] (有)山愛緑化
- ・食農科学科1年
  - 佐々長醸造(株)、(株)回進堂
- ・食農科学科2年
  - [いわて高校魅力化推進事業] 盛岡手づくり村ぴょんぴょん舎冷麺工房、(株)松原農場

## (2) インターンシップ

期 日 10月1日～3日(3日間)  
 実習先 近隣市町村の事業所等  
 対 象 全学科2学年

## (3) その他

- ・就農・農大進学等研修会
- ・花巻市農林部連携事業
- ・フラワーアレンジメント講習会
- ・ドローン講習会
- ・CAD講習会
- ・造園技術講習会
- ・建設業ふれあい体験

## その他の専門教科に係る活動

### (1) 生産工程管理の取組

- ・JGAP認証【穀物(粳・玄米)】更新(2023.12.21～2025.12.20)(生物科学科作物班)
- ・HACCP手法の実践(食農科学科)

### (2) 和牛甲子園出場

- ・東北一番(生物科学科畜産班)

### (3) 公共施設への門松制作・寄贈

- ・令和7年度日本善行会春の善行彰「青少年善行」受賞(環境科学科緑化系列)

## 岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の5の規定に基づき、県立学校（以下「学校」という。）における同条第1項に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の設置等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

**第2条** 岩手県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、法第47条の5第1項の規定に基づき、別に定める学校（以下「対象学校」という。）に協議会を設置する。

(組織)

**第3条** 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員の任期は、1年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(守秘義務)

**第4条** 委員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(会長及び副会長)

**第5条** 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 協議会は、会長が対象学校の校長（以下「校長」という。）と協議の上、招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(基本的な方針の作成及び承認)

**第7条** 法第47条の5第4項の教育委員会規則で定める事項は、校長が必要と認める事項とする。

(意見の申出)

**第8条** 協議会は、法第47条の5第6項の規定に基づき意見を述べるときは、校長を経由するものとする。

2 法第47条の5第7項の教育委員会規則で定める事項は、次に掲げる事項（特定の個人に係るものを除く。）とする。

(1) 対象学校の運営の基本的な方針の実現に資する事項

(2) 対象学校の教育上の課題を踏まえた事項

3 協議会は、法第47条の5第7項の規定に基づき意見を述べるときは、あらかじめ校長の意見を聴取するものとする。

(対象学校の運営状況についての評価)

**第9条** 協議会は、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援のため、毎年度1回以上対象学校の運営状況について評価を行うものとする。

(指導、助言等)

**第10条** 教育委員会は、協議会の運営状況についての的確に把握し、必要に応じて指導及び助言をするものとする。

2 教育委員会及び校長は、協議会が適切な合意形成を図るために必要な情報を提供しよう努めなければならない。

(補則)

**第11条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

**附 則**

この規則は、令和2年4月1日から施行する。